

委託仕様書

1 概要

企業が生産性を向上させ、将来の成長や競争力強化を図っていくためには、デジタル技術を活用して新たなビジネスモデルを創出・柔軟に改変するDX（デジタルトランスフォーメーション）に取り組むことが重要であることから、社内DXに必要な実践的な能力を養う講座や、地域ベンダー企業とのマッチングイベント及び各種相談への対応等を実施し、京都市内中小企業のデジタル化・DXを推進する。

2 内容

(1) デジタル化・DX人材育成事業

ア デジタル化・DX実践講座

主に社内のデジタル化・DX推進担当者を対象に、自社のデジタル化・DXを具体的にイメージし、実践できるように、コーチングスタイルによるワークショップ形式を基本とし、講座期間中に自社で実践できるデジタル化・DXプランを受講者全員に策定させる。また、グループディスカッション等により、受講者同士の意見交換を図る。

① 講座回数

4回程度（連続した一つのプログラムとする。9月下旬～10月）

② デジタル・DXプランの発表

講座で策定したデジタル・DXプランの発表会の開催（12月頃）

③ 受講者数

市内中小企業等20社程度

④ 開催方法

会場参加形式

④ 講座期間中のフォロー体制

講座中盤、講座終了後等の3回程度、受講企業に個別指導を行い、デジタル化・DXプラン策定支援と導入までの伴走支援を行う。

イ デジタル化・DX導入セミナー

主に経営方針を定める権限を持つ経営者・幹部等への講演会形式を基本とし、デジタル化・DXに取り組むことの必要性、社内で取組意義を共有することの重要性や、実際に取り組む際の手順やポイントを説明する。

① 講座回数

5月下旬に1回、8月に1回（それぞれ独立した講座とする）

② 受講者数

会場（リアル）５０名程度＋オンライン受講者

③ 開催方法

ハイブリッド形式

(2) マッチングイベント等の実施

地域ベンダーとユーザー企業（市内中小企業）のマッチングイベント（展示、商談会）を実施することで、地域中小企業のデジタル化、DXを促す。また、デジタル化のすそ野を広げるため、マッチングイベントの中で好事例の紹介等を行うセミナーを実施する（支援企業の募集及び調整を含む。）。

イベントの実施日時、場所及び会場レイアウトについては以下のとおりとする。

ア 日時

開催日：令和６年１１月又は１２月 午前１０時頃から午後５時頃まで

準備日：開催日の前日

イ 場所

京都産業会館ホール（京都市下京区四条通室町東入函谷鉾町７８番地 京都経済センター２階）

又は本市が指定する会場

※ 会場使用料は本事業の委託費から支出すること（約１００万円）。

ウ ブース出展者数

５０者程度

※ ブース出展とは別に、２(３)の相談窓口を３区画程度設けること。

エ 会場レイアウト

別紙を基本としつつ、案を提案すること。

(3) 相談窓口の設置

上記２(１)イのデジタル化・DX導入セミナー、２(２)のマッチングイベント及び市内で開催される民間等のビジネスフェア等（年２回程度）にブースを出展し、デジタル化・DXの相談を受け付ける。

また、相談を受け付けた企業に対して専門家を派遣する等、課題解決に向けて継続的な支援を行う。

なお、随時、デジタル化・DXの相談をWEBで受け付けできるように、仕組みを構築すること（年間相談件数は１０件程度を想定）。

(4) 事業成果の発信

中小企業等のデジタル化・DXへの機運を高めるため、ホームページ等で本事業の実施成果の発信を行う。

(5) その他

ア 同事業に係る関係機関との連絡調整、情報収集

イ 同事業に係る広報については、様々な媒体を通じて積極的に行うこと。

3 報告書

委託業務完了後、報告書3部を提出する。

4 予算不成立の場合の無効

本件調達に係る予算が成立しないときは、この公告は無効とする。この場合において、本件調達のために行った準備行為等に係る費用が既に発生していても、落札者は、その費用を京都市に請求することはできない。

会場レイアウト（案）

展示ブース：50箇所

相談コーナー：3箇所

商談ブース：10箇所

南 室

中 室

北 室

